

「2005年日本国際博覧会」(愛・地球博)

## 日立グループ館プレスご見学会

～ Mixed Reality (複合現実感) を使用した  
「ユビキタス・エンターテインメント・ライド」～

2005年2月22日

株式会社日立製作所

## パビリオン名称

Nature Contact 日立グループ館  
ユビキタス・エンターテインメント・ライド

## パビリオン情報

敷地面積:4000m<sup>2</sup> 建築面積:2393m<sup>2</sup>  
延床面積:266m<sup>2</sup> 高さ:30m  
場所:長久手会場  
企業パビリオンゾーンB

## 動員力

約185万人

## 出展内容

「Nature Contact ~ 日立のITで  
蘇る希少動物達とのふれあい~」

日立グループが目指すいつでも、どこでも映像・情報サービスを受けることができる「ユビキタス情報社会」で必要な最先端のITを駆使し、絶滅の危機に瀕する希少動物たちを映像上で蘇らせ来場者がふれあうことができるパビリオン。

日立グループの技術である非接触ICチップ「ミューチップ」が組み込まれた入場券と連動したトータルサービスの提供をはじめ、最先端の技術を結集している。

## 演出は3部構成

### プレ ショー

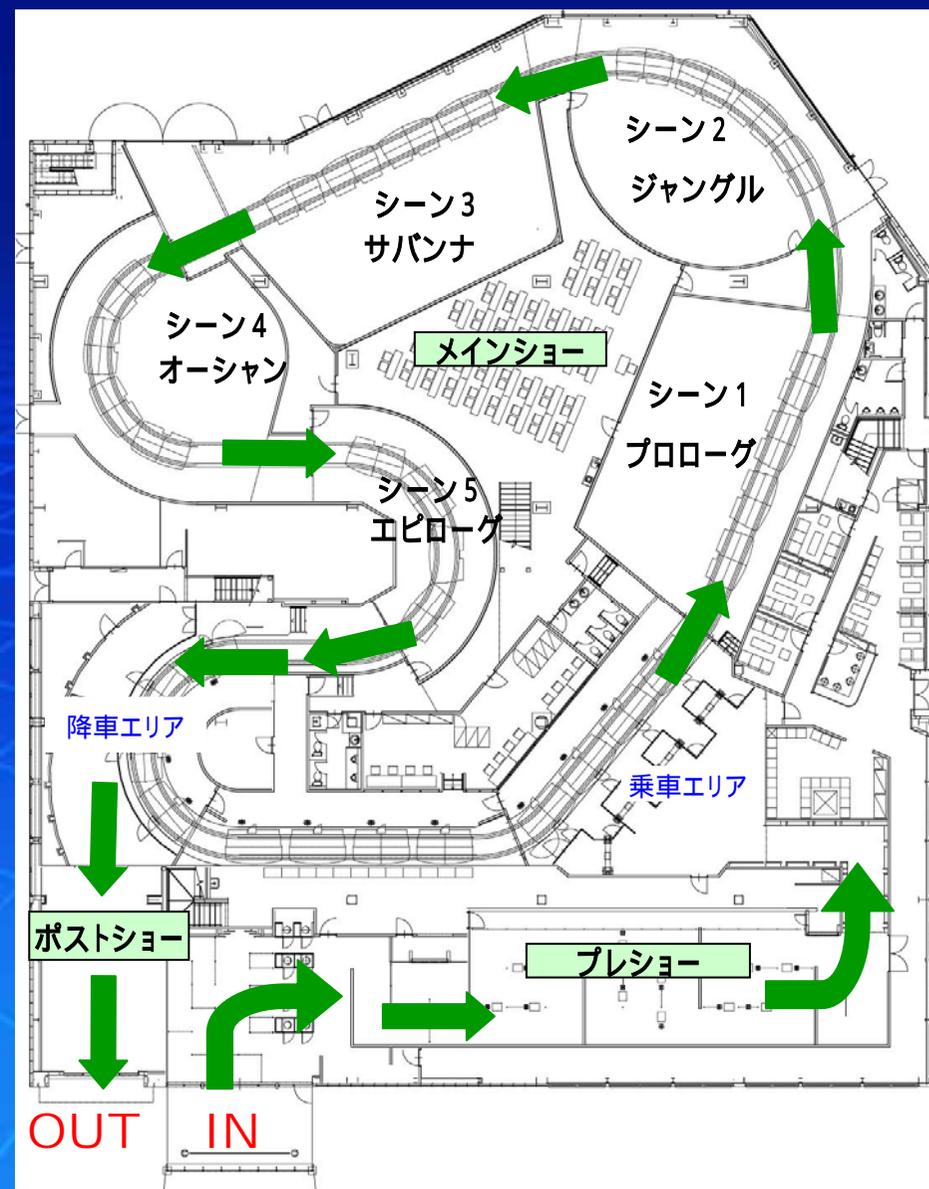
情報表示端末「Nature Viewer」を使って「レッドリスト」に該当する希少動物を紹介するコーナー(20分)

### メイン ショー

ライドに乗り、MRによって蘇った希少動物達とのふれあい体験ができるユビキタス体験ツアー(6分)

### ポスト ショー

プラズマディスプレイと入場券を使ってメインショーの追体験ができる記念写真コーナー(3分)



\*「レッドリスト」とは、IUCN(国際自然保護連合)が世界規模で絶滅のおそれのある種を選定したリスト。

## プレショー演出内容

日立グループの技術を結集し、実用化した情報表示端末「Nature Viewer」を使って希少動物に関する情報を紹介することで、ユビキタス体験をしていただく。



プレショー演出イメージ



危険種	ライオン	危険種	ライオン
	食肉目 ネコ科		頭部のたてがみは、オスの特徴である。
<b>分布</b>	サハラ砂漠以南のアフリカ 諸国とインドの一部地域。		生息環境の劣化と狩猟により減少し、ヨーロッパでは2000年
<b>生息環境</b>	主にサバンナだが、熱帯雨林を除く多様なタイプの森林、草地または山岳地にも生息。		ほど前に絶滅した。アフリカに約3万頭以下、インドに250頭が生息している。
<a href="#">前へ戻る B</a>	<a href="#">A 次へ進む</a>	<a href="#">前へ戻る B</a>	<a href="#">A 次へ進む</a>

プレショー画像イメージ

## メインショー演出内容

ライドに乗車すると、MRにより「レッドリスト」の希少動物(仮想世界)とジオラマ(現実の情景)の融合した世界が広がり、希少動物と来場者の双方向性のあるやり取りを通してユビキタス体験ができる21世紀型のエンターテインメント。



ライド

## ポストショー演出内容

日立の「ユビキタスディスプレイ」を使ってメインショーで来場者が体験した希少動物との出会いを記念写真として楽しめたり、自宅のPCからダウンロードできるなど、「いつでも、どこでも情報が得られる」ユビキタス体験ができる。



ポストショー演出イメージ



記念写真イメージ

## 希少動物育成ソフトウェア『Ocean Contact』内容

「レッドリスト」に該当する希少動物キャラクター「コガシラネズミイルカ」「チチュウカイモンクアザラシ」「タイマイ」の3種類を自宅のPCデスクトップ上で育成することができるシミュレーションソフト。ソフトから発行される2次元バーコードをパビリオン来館時に持参することでメインショー

でキャラクターとの再会ができる。

# Ocean Contact



タイマイ



コガシラネズミイルカ



チチュウカイモンクアザラシ

## デスクトップでの育成イメージ



希少動物キャラクターを右クリックするとコントロールパネルが登場

## コントロールパネル画面イメージ

The screenshot shows the 'Ocean Contact' software interface. At the top, the title 'Ocean Contact' is displayed. The main area features a central panel with a yellow border containing a turtle illustration and several status indicators: '名前' (Name) with '生後 7日' (7 days old), '空腹度' (Hunger) with a red-to-black gradient bar, 'ストレス度' (Stress) with a red-to-black gradient bar, '環境汚染度' (Environmental Pollution) with a red-to-black gradient bar, and '健康状態' (Health Status) with a red-to-black gradient bar. To the left of this central panel are four buttons: a turtle icon, a spoon with a blue ball, blue gloves, and a syringe. To the right are four buttons: a blue owl icon, a '設定' (Settings) button, a question mark, and a '日立グループへ行く' (Go to Hitachi Group) button. At the bottom left is a '閉じる' (Close) button, and at the bottom right is a circular '成長バロメーター' (Growth Barometer) with a red-to-black gradient. Red arrows point from Japanese labels to these various elements.

状態確認ボタン

食事ボタン

掃除ボタン

注射ボタン

名前 生後 7日

空腹度 満腹 空腹

ストレス度 小 大

環境汚染度 小 大

健康状態 良 悪

フクロウ博士ボタン

設定ボタン

ヘルプボタン

2次元バーコード発行ボタン

成長バロメーター

コントロールパネルで動物の状態が確認でき、各種ボタンでケアをします。

## キャラクターと再会する仕組み



コントロールパネルの  
「日立グループ館へ行く」  
ボタンをクリック。



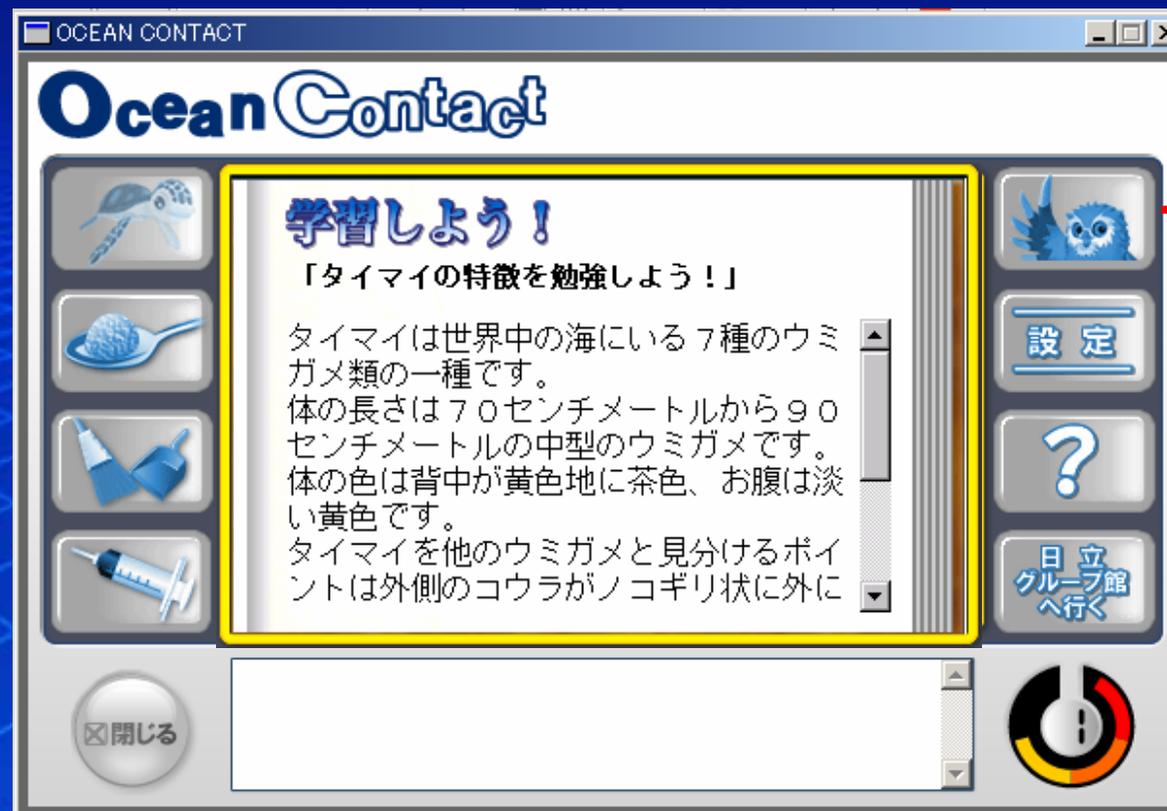
2次元バーコードが  
発行されます。



パビリオンの受付で  
アテンダントにバーコードを  
渡すと・・・

自分が育てた希少動物とメインショーで  
感動の再会を果たすことができます。

## 学習イベント画面イメージ



フクロウ博士  
が学習を促  
します。

キャラクターの成長段階が変わるごとに、その希少動物についての知識を学習します。

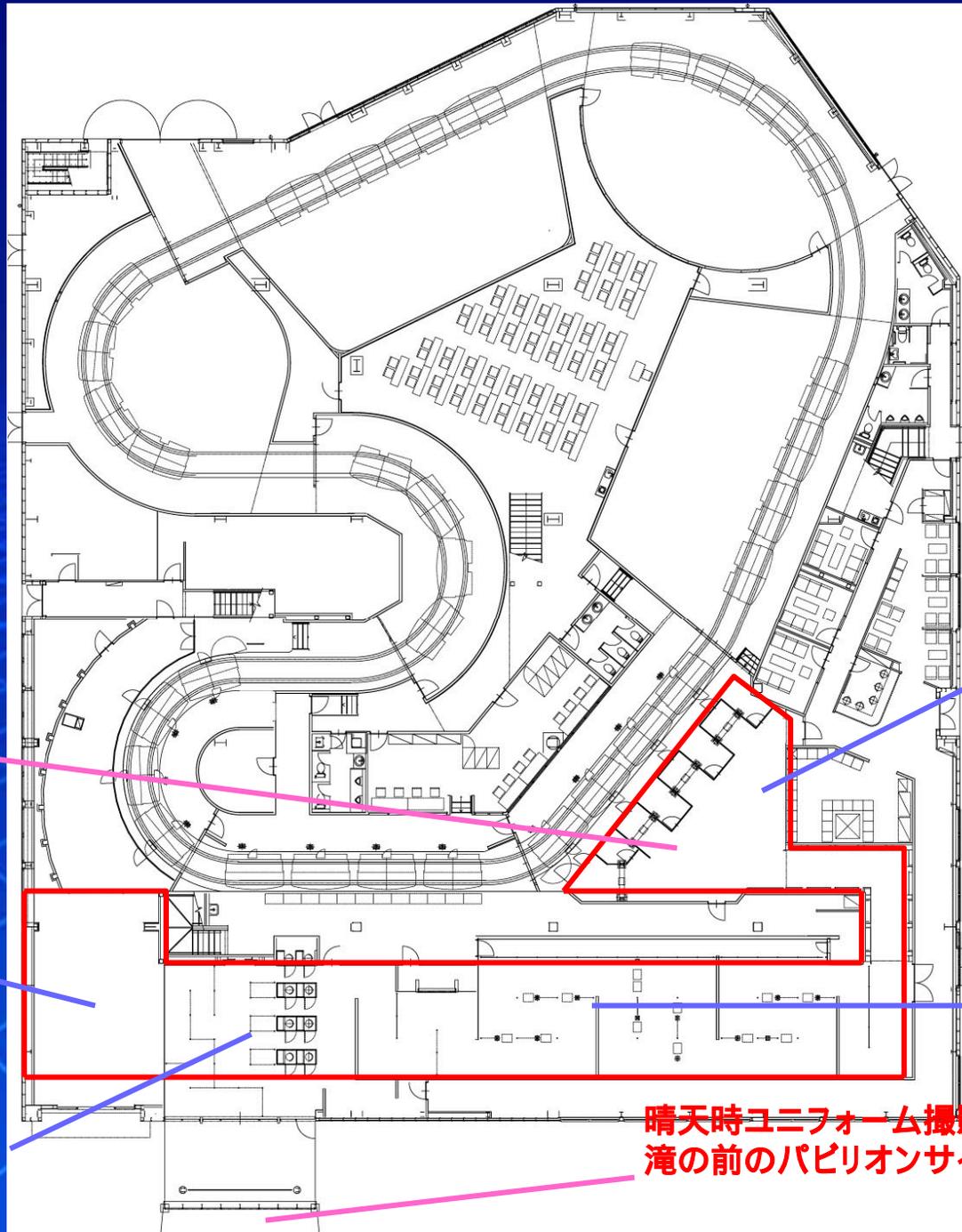


囲み部分が撮影可能エリアです。ライド軌道上の撮影は禁止とさせていただきます。

雨天時ユニフォーム撮影場所

ポストショーゾーン

レジストレーション



乗車エリア

プレショーゾーン

晴天時ユニフォーム撮影場所  
滝の前のパビリオンサイン付近